

平成十六年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成十六年八月一日～十月末

投句数 一、九二一句

特選三句

天

極楽の蓮の風来る渡り廊

東京都町田市 竹内 弘

地

蜻蛉の羽音とどまる水の上

東京都大田区 宮島婦美

人

朝顔や流転の果ての終の家

神奈川県横浜市 葭谷健一

入選二十句

大仏のうしろも秋の日和かな

神奈川県茅ヶ崎市

秋元重久

梵鐘の消えゆく先の谷戸紅葉

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

大いなる山門くぐりつわの花

大阪府羽曳野市

松村穎子

失せしもの残りしものや野分後

神奈川県横浜市

野口常子

月明の俳句ポストへ一句かな

神奈川県葉山町

沼田重吉

鶉啼いて道づれほしき化粧坂

神奈川県葉山町

葉狩明子

法話聞く黒地蔵堂木の実落つ

神奈川県茅ヶ崎市

高橋和子

鎌倉へ行きたくなりし秋日和

東京都世田谷区

中村芳子

秋風や女人ばかりの写経堂

神奈川県横浜市

柳沢栄蔵

秋晴や又来たくなる鎌倉路

神奈川県座間市

鈴木幸子

江ノ島が影絵となりし秋の暮

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

蝸に鳴き包つまるる虚子の墓

神奈川県横浜市

細田かほる

鯉跳ねて千年蓮の実がとべり

神奈川県鎌倉市

村関昭代

寿福寺へ辿る裏みち法師蟬

神奈川県横浜市

小島治彦

白萩は揺れ紅萩は零れをり

神奈川県藤沢市

若松明弘

なつやすみたのしいときはすぐすぎる

神奈川県横浜市

湯澤舞

梅雨晴れの川音に浴び谷戸も奥

東京都小金井市

石川明子

門川の音にさみだれ萩ゆるる

神奈川県鎌倉市

岡田昭

虚子立子ねむれる寺や蟬時雨

神奈川県鎌倉市

小林貞夫

木の実踏む鎌倉山のけもの道

神奈川県横浜市

山下省三

(順不同)